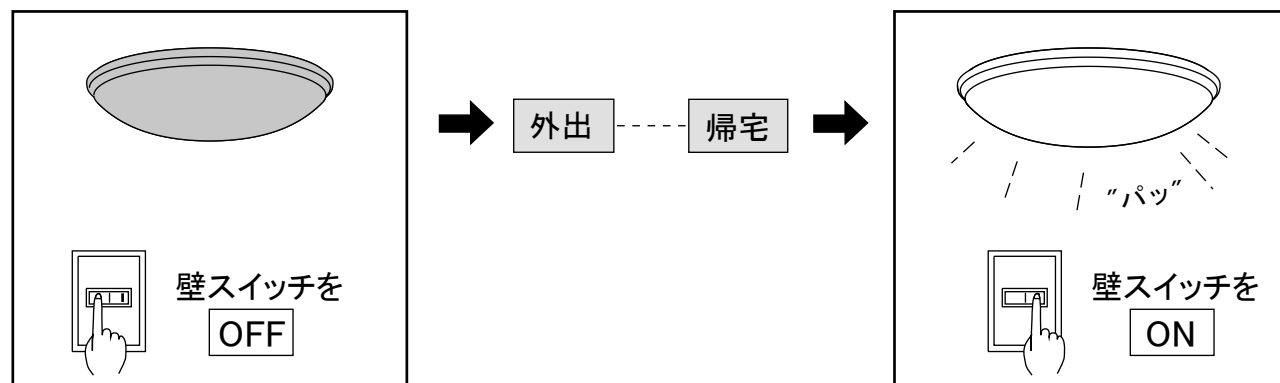


壁スイッチによる操作方法

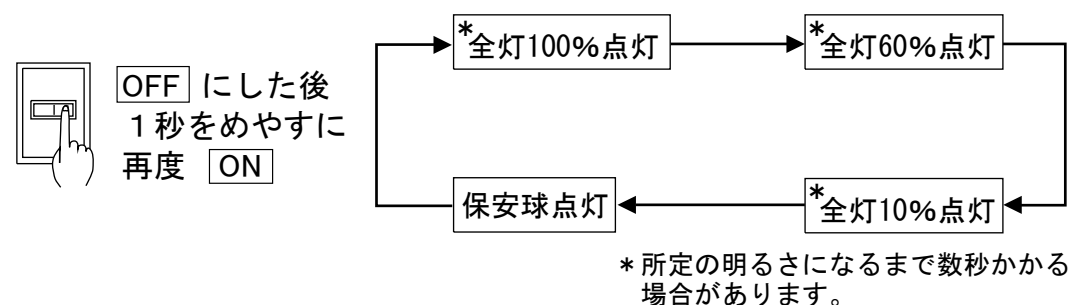
壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

- 壁スイッチを **OFF** にした後、再度壁スイッチを **ON** にしますと、消灯前の点灯モードになります。

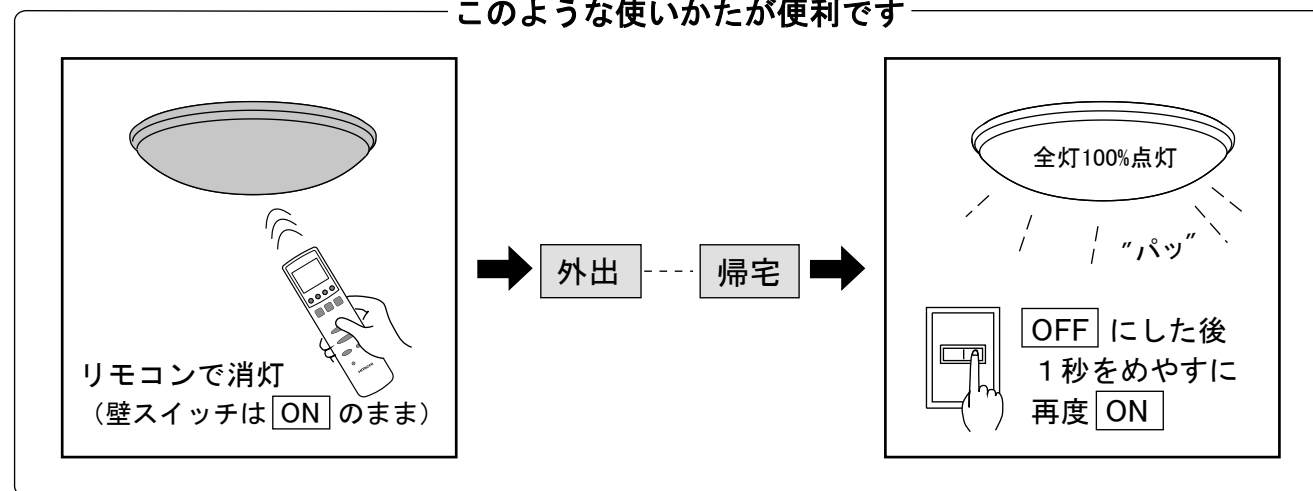


- 壁スイッチを操作することで次の点灯モードに切り替えることができます。

壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。



このような使いかたが便利です



ご注意 壁スイッチの **OFF** - **ON** の切り替え時間を検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、壁スイッチ操作の際は約1秒をめやすに操作してください。0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードは切り替りません。このような場合は、約1秒間隔で **OFF** - **ON** 操作をもう一度おこなってください。

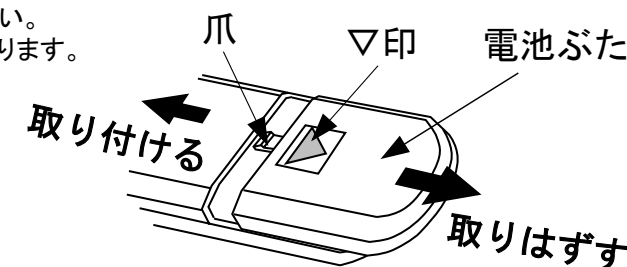
乾電池の入れかた

- ①電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取りはずしてください。
- ②単3形アルカリ乾電池を⊕、⊖の表示に合わせて入れてください。
(初めて乾電池を投入した場合は、現在時刻の設定モードに入ります。
時計の合わせかたをご参照ください。)
- ③電池ぶたをかぶせて、爪が入るまでずらしてください。

! 必ずアルカリ乾電池を使用する。
* アルカリ乾電池以外は、正常動作しない場合があります。
必ず守る

※リモコンスイッチのアルカリ乾電池平均寿命は、1日10回の使用で約半年が目安です。
※乾電池の寿命時に電池残量表示が点滅を始めますので、乾電池を交換してください。交換後は通常通り使用できます。表示画面が消えてから乾電池を交換した場合、時刻表示および予約内容が工場出荷時の状態に戻りますので、再び設定してください。
※点滅時は“タイマー予約”はできませんが点灯切替は可能です。

! 長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。
必ず守る * 液もれによるリモコンの故障の原因となります。



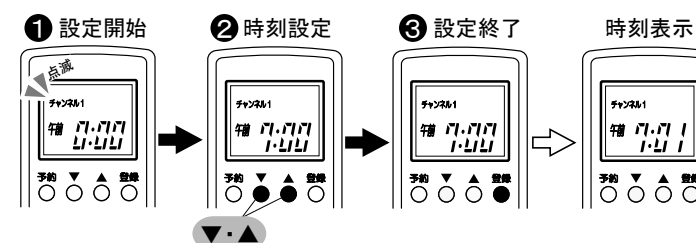
! 注意

- ・種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）、また新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
- ・充電式電池は使用しない。
- ・使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。
* 乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

時計の合わせかた

- ①乾電池を入ると時刻表示が点滅します。
- ②画面下の ▼・▲ ボタンで時刻設定してください。
・ボタンを1回押すたびに1分刻みで時刻が進みます。
・ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が進みます。
- ③時刻設定ができましたら **登録** ボタンを押してください。
時刻表示が始まり設定完了です。

* 時刻修正や再登録する場合は **登録** ボタンを3秒以上押してください。時刻表示が点滅しますので上記の手順で設定してください。



※1分間操作がない場合、設定モードを終了します。

リモコンケースの使いかた

- リモコンをなくさないように、リモコンの置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。

使用状態



リモコンケースの取り付けかた

- リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本で取り付けてください。
※リモコンケースを上にはずらして取りはずせるように取り付けてください。

